

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	スクールバス更新事業	泊村	23,300,624	23,000,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	スクールバス更新事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		泊村		
交付金事業実施場所		泊村大字盃村		
交付金事業の概要		スクールバス1台更新(乗車定員:60人、エンジン出力:221kw、駆動方式:四輪駆動、変速方式:MT) 沿海地域特有の塩害による腐食、経年劣化により故障の頻度が多くなってきていることから、児童の登下校における安全・安心な通学手段を確保するためスクールバスを更新します。		
総事業費		23,300,624	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	23,000,000 0 23,000,000
交付金事業の成果目標		泊村では平成8年度に、人口減に伴う児童の減少により、それまで4校あった小学校を1校に統合しました。以来、4地区の集落からスクールバス2台による運行で児童を送迎しております。現在使用しているスクールバスは平成7年度に購入した車両ですが、経年劣化や沿岸地域特有の塩害等により故障の頻度が増加していることや、毎年車検がとおりずらくなっている状況にあります。 そのような中、学校現場や保護者からは安全な運行を求める声が高く、村としても総合計画の「義務教育の環境づくり」の中で「児童の通学手段と安全確保のため、スクールバスの計画的更新など通学手段の確保を継続して進めます」としていることから、この度スクールバスを1台更新することによって、地域住民の福祉の向上を図ることといたします。		
交付金事業の成果指標		スクールバスの更新により、平成29年度以降は登下校に200回以上、少年団活動などに150回以上、水泳学習やスキー学習、夏・冬休みの補習授業などの臨時運行に70回以上の運行を見込んでおり、今後も児童がより安全に通学できることを目指してまいります。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、60人乗りの大型バス1台の購入が完了しております。平成29年度においては登下校で204回、スポーツ少年団活動に129回、水泳学習やスキー学習、夏・冬休みの補習授業などの臨時運行に64回の運行を計画しています。 学校や保護者からも「これまでのバスに比べて安全性が向上した。」「安心して子どもを乗せられる。」等の声が聞かれています。管理する教育委員会においても、故障の不安が大きく軽減し、高額な修理や代替バスを探す等の不安が払拭されました。今後は更なる安全運行を徹底し児童・保護者が安心して通学できる環境整備を促進することで、地域住民の福祉向上を図ってまいります。また改めて平成29年度に、交付金事業の成果の再評価を行うこととします。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
スクールバス購入		指名競争入札	北海道日野自動車株式会社小樽支店 支店長 来島 知洋	23,300,624
計				23,300,624
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 H29	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載